

## 行政報告

### 新型コロナウイルス感染症対策について

はじめに、感染症に直接対峙されている医療関係者をはじめとする現場の皆様のご御尽力に対し、市民を代表して心から感謝申し上げます。

また、議員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策のために、議会運営をはじめ様々な御協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大する中、四月七日には関東・近畿・九州の七都府県を対象に改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が行われ、さらに、十六日には特に大型連休中の人の移動を最小化するために、対象地域が山口県を含む全都道府県に拡大されました。

本市が感染予防に取り組む中、防府商工高等学校教職員五人の感染者が確認され、市民の皆様には大きな不安が広がりました。

県内公立高校の臨時休業の決定に合わせ、本市では、直ちに小中学校を休業するとともに、市民の皆様に対し、移動の自粛と市内発生に伴う緊急的な措置についての通知を行いました。

さらに、感染症予防の重要性について掲載した市広報五月一日号とともに、防府医師会が監修したメッセージを配布し、感染症対策の周知を図りました。

くわえて、大型連休中における接触機会の八割低減を図るため、ステイホームの徹底を要請する看板を市内各所に設置するとともに、防災行政無線や広報車等により、市民の皆様へ訴えかけているところでございます。今後も、あらゆる手段を用いて、市民の皆様の安全・安心の確保に可能な限り取り組んでまいります。

一方で、この感染症拡大による経済的な影響は、平成のバブル経済の崩壊やリーマンショックによる金融市場の崩壊をはるかに凌ぐほど甚大で、特に本市におきましては大手企業の生産調整等もあり、その影響は非常に大きいものと認識しております。

このため、本市では、他市に先駆け四月十三日に、防府商工会議所とともに、新型コロナウイルス感染症関連相談窓口を設置し、飲食業や観光業をはじめとして、かつてない経営の危機に直面している事業者のために、資金繰りや融資など様々な御相談をワンストップで受け付け、既に二百人を超える相談者を受け入れているところでございます。

このような中、本市としては、なによりも市民の命と暮らし、そして雇用を守るための対策にしっかりと取り組まなければならないという決意の下、防府商工会議所や関係機関等の御意見も伺いながら、先日成立した、国や県の補正予算を踏まえ、一人十万円を給付する国の特別定額給付金の執行のための予算を含んだ過去最大となる総額約百二十八億円の補正予算案を提出したところでございます。

国の特別定額給付金につきましては、四月二十七日に設置した特別定額給付金室において、本日からオンラインによる申請を受け付けており、連休明けの七日には給付を開始できるものと見込んでいます。

全国に出されている緊急事態宣言の延長が検討されている中、新型コロナウイルス感染症との戦いは防府市の生き残りを懸けた、そして発展のための戦いであると認識しております。

市民の皆様の命が一番大事です。私は、この戦いに覚悟をもって臨む決意でございます。

この国難というべき未曾有の事態を迎えているこの時こそ、市議会と執行部がまさに車の両輪となり、そして市民の皆様と一体となって戦わなければ、この難局を乗り越えることはできません。

私は今こそ、市広報に掲げた「今を乗り越えて、みんなががんばろう」というメッセージを全ての方に呼びかけさせていただきたいと思えます。

議員の皆様におかれましては、今後とも、力強い御支援と御協力をお願いいたします。